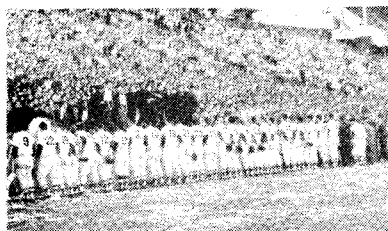


応援団・演武団体紹介



応援団 発団以来40有余年の歴史と伝統の中に我が明治大学応援団も幾多の変遷を重ねて来たが、他校の追従を許さじと、なお一層の発展を期しているのが現在である。今日、我が応援団はリーダー部、吹奏楽部、バントワラズとの三つに分かれている。総部員数、わずか80数名ながら一つの組織を形成し有団連の一つとして堂々とその職務を全うし日夜精進しているのである。活動内容には野球の応援のみならず、駿台祭、和泉祭、生田祭、入学式、卒業式などに参加、支援するも含まれている。すなわち母校の発露たる全面的な応援である。

その過程において我々は団則 1, 団結 1, 剛健 1, 自律 1, 服従 1, 明朗の 5つを心の鑑としているのである。ともあれ皆一つの共通した終極的な場を求め、日夜努力している姿、それが現在の応援団である。

体育会空手部 空手道における攻防の基本である突き蹴り受けは、空手道への入門であるとともに、最終の技術目標でもある。要求されるのは、体の安定と、臨機応変な重心の移動と、力の効果的な運用すなわち、集中的な衝撃力である。身体各部の力が同時に、同方向に、同一目的に協力し働いてこそ強大な破壊力が生じるのであるから、それに必要な筋肉を強くすることが即ち上達への最短コースである。



小林寺拳法同好会 小林

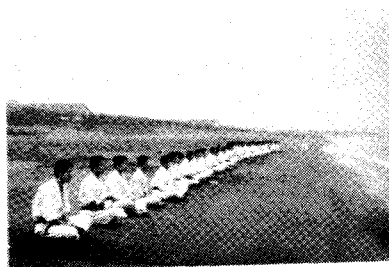
寺拳法同好会の発足は昭和

35年の12月である。丸10年が過ち、その間年毎に発展し、全日本優勝を始め関東大会優勝と経験し、常に関東における学生少林寺拳法のリーダーシップを努めてきた。現代60余名の部員数を保ち、春夏の合宿に、又毎日の練習にと部員相互の親睦と人間修養、少林寺拳法の発展などに向って邁進している。印度から中国へ、そして日本へと伝わる少林寺拳法の歴史は古く、実に4000年を数え、北派禅宗を背景に力愛



不二、心身一体の教えに基づく自己修養の道である。我がクラブもこの教義にのっとり規律ある中に和気愛々とした楽しさもあるクラブです。

合気道部 合気道は、「気」に合する道である。「気」とは日常使われる言葉「気が強い」「意気消沈」などの「気」である。合気道では、その気を出す稽古をする。合気道においては、一般のスポーツのように、勝負そのものが目標ではなく修行そのものを重視し、修行を通じて大自然の法則を体得し、その真理に沿う自分自身を完成するためである。「正勝吾勝^{まさかつあかつ}」、即ち正しき真理にて勝ち、われに勝つ修業が合気道なのである。



同好会空手部 我々同好会員は学生或いは社会人としての民主的ルールに基づき、絶えず心身両面にわたって人間能力の可能性を探究しつつ空手に励んでいます。そして自由に個性を具現した空手を学ぶ事においてのみ共通であるということに武道的集団の意味があるのではないかと思います。この4年間で学ぶ空手は一生に一度使うか使わないか。もし使わないで一生をおくれたら幸いであると思っています。“空手は君子の武道”と言われる故縁もここにあると思います。

女子柔道同好会 私たち柔道同好会は昭和38年に設立されたまだ新しいクラブです。にもかかわらず、もうすっかり明大のクラブとして立派に根づいた感じがします。昨年度の和泉祭においても我がクラブを一目見ようとする男性諸子がいかに多かったことか。そこで当日は、恒例おなじみの華麗なる柔道舞踊を御披露します。たとえ華麗とは見えなくとも本人たちはそのつもりでやっておりますから、御協力の上御覧ください。